

施工計画チェックリスト(2)

(書式-5b)
2025.02.01改訂

項目	内容											記載ページ		
2.3 調査(続き)	4) 上記調査確認における試験結果 (JIS表記による) ※記入欄が足りない場合は増やしてください。													
	工場No. - 調査No.	項目	試験結果										フリーディング量 (cm ³ /cm ³)	沈降量 (mm)
			練上り直後	30分後	60分後	90分後	120分後	150分後	180分後	あと添加後				
	a-1	スラブ・スランブフロ- (cm)	61.0	63.5	63.5	62.5	62.5	-	-	63.0			(5-3-x~xx p)	
		空気量 (%)	2.0	1.7	1.7	1.8	1.9	-	-	2.0	0.00	0.7		
		コンクリート温度 (°C)	23	23	23	23	23	-	-	23				
	b-1	スラブ・スランブフロ- (cm)	63.0	65.0	67.0	64.5	63.0	-	-	66.0			(5-3-x~xx p)	
		空気量 (%)	1.2	1.3	1.0	0.9	1.4	-	-	1.1	0.01	1.2		
		コンクリート温度 (°C)	27	27	28	28	28	-	-	24				
		スラブ・スランブフロ- (cm)											(p)	
		空気量 (%)											(p)	
		コンクリート温度 (°C)											(p)	
		スラブ・スランブフロ- (cm)											(p)	
		空気量 (%)											(p)	
		コンクリート温度 (°C)											(p)	
5) 圧縮強度試験結果														
工場No. - 調査No.	供試体採取した 練混ぜ開始からの 経過時間	圧縮強度試験結果 (N/mm ²)												
		材齢7日	材齢28日	材齢56日	材齢91日									
a-1	60分後	51.9	78.0	-	-							(5-3-x,xx p)		
	120分後	-	76.8	-	-							(5-3-x p)		
	あと添加後	-	76.7	-	-							(5-3-x p)		
b-1	60分後	-	73.9	-	-							(5-3-x p)		
	120分後	-	76.5	-	-							(5-3-x p)		
	あと添加後	-	77.7	-	-							(5-3-x p)		
※ 試験結果の無い材齢欄は「-」を記入してください。														
6) 決定調査														
工場No. - 調査No.	セメント種類 または 結合材種類	水結合材 比 (%)	細骨 材率 (%)	スラブ・ スランブフロ- (cm)	空気量 (%)	単位数(kg/m ³)								
						セメント	混和材	水	細骨材	粗骨材	混和剤			
a-1	中庸熟	35.0	50.8	60	3.0	486	-	170	877	876	8.262	(5-4-x p)		
b-1	中庸熟	34.5	47.7	60	3.0	506	-	175	810	916	7.843	(5-4-x p)		
												(p)		
												(p)		
												(p)		
												(p)		
												(p)		
												(p)		
7) 上記コンクリートの種別 ※該当する欄には「○」印と「認定番号」を、空欄には「-」を記入してください。														
工場No. - 調査No.	JIS A 5308 普通コンクリート		JIS A 5308 高強度コンクリート		大臣認定コンクリート (認定番号を併記)									
a-1	-	-	-	-	○	MCON-****						(4-2-x p)		
b-1	-	-	-	-	○	MCON-****						(4-2-x p)		
												(p)		
												(p)		
												(p)		
												(p)		
記入例	-	-	○	-	-	-						(p)		
記入例	-	-	-	-	○	MCON-****						(p)		
※ 大臣認定コンクリートの場合は、認定書と別添の写しを添付してください。														

施工計画チェックリスト(3)

(書式-5c)
2025.02.01改訂

項目	内容	記載ページ
2.4 工程	1) 鋼管柱製作 2024年7月上旬～2024年12月中旬 2) 鋼管柱建方 2024年12月中旬～2025年4月上旬 3) コンクリート充填 落とし込み充填 2025年1月15日～2025年1月20日 圧入 2025年3月下旬～2025年5月上旬	(1-4-x p) (1-4-x p) (1-4-x p) (1-4-x p)
2.5 コンクリートの充填工法	1) 地上階 <input checked="" type="checkbox"/> 圧入 <input checked="" type="checkbox"/> 落とし込み充填 <input type="checkbox"/> その他 2) 地下階 <input type="checkbox"/> 圧入 <input type="checkbox"/> 落とし込み充填 <input type="checkbox"/> その他 ※ 該当がない場合は取消し線で消してください。申請範囲外がある場合は記入の上見え消ししてください。	(6-1-x~x p) (- p)
2.6 鋼管柱の形状・加工	1) 鋼管の詳細図 ※ 代表的な柱の最下層の柱脚から最上層の柱頭までが表記された図面(鉄骨製作図:実際に製作される柱の詳細が分かるもの:特殊な納まりがある場合はその部分の納まり図も)を添付してください。 2) 圧入口 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 圧入口が有の場合の配置が適正か。 <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 不適 ※ H13国交省告示第1024号 十表の規定(鋼管のシーム部並びに柱の床面及びはり下から1メートル又は柱幅の大きい数値以下の位置に設けない)を参照してください。 ※ 「不適」の場合、その処置方法及び根拠となる資料を添付してください。 3) 圧入口の補強 <input checked="" type="checkbox"/> 補強板 <input type="checkbox"/> その他 () ※ 実際の柱に取付ける補強板等の要領を図示してください。 ※ 角形鋼管柱の角部と補強板との溶接の取合いが分かるものなど。 4) 誘導管の有・無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 () ※ 「無」とした場合は根拠となる資料を添付してください。 ※ 「有」の場合は誘導管のタイプを選択して、図面を添付してください。 5) ダイアフラムの打設孔の最小開口率 最小開口率 : <u>17.1</u> % <input checked="" type="checkbox"/> 15%以上 <input type="checkbox"/> 15%未満 ※ 最小開口率の計算根拠を示してください。 6) ダイアフラムの4隅の空気抜き孔(またはスカラップ)の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 空気抜き孔の直径(またはスカラップのR) : <u>40~45</u> mm ※ 実際の形状・位置・寸法を示してください、Rで示せない場合は図示してください(鉄骨製作図添付でも可)。 7) 形状保持板の打設孔の最小開口率 最小開口率 : <u>-</u> % <input type="checkbox"/> 15%以上 <input type="checkbox"/> 15%未満 ※ 最小開口率の計算根拠を示してください。 8) 形状保持板の4隅の空気抜き孔(またはスカラップ)の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 空気抜き孔の直径(またはスカラップのR) : <u>-</u> mm ※ 実際の形状・位置・寸法を示してください、Rで示せない場合は図示してください(鉄骨製作図添付でも可)。 9) ダイアフラム、形状保持板、トッププレート間の内法寸法の最小間隔 最小間隔 : <u>-</u> mm <input type="checkbox"/> 150mm以上 <input type="checkbox"/> 150mm未満 ※ 最小間隔が150mm未満の場合対処方法を示してください。 10) 水抜き孔の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※ 実際の形状・位置・寸法を示してください(鉄骨製作図添付でも可)。 11) 蒸気抜き孔 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 蒸気抜き孔の直径(告示範囲:10~20mm) : <u>20</u> mm ※ 実際の形状・位置・寸法を示してください(鉄骨製作図添付でも可)。 ※ 外巻きコンクリートがある場合、処理方法を記入してください。 蒸気抜き孔が有の場合の配置が適正か <input checked="" type="checkbox"/> 適正 <input type="checkbox"/> 不適 ※ H14国交省告示第464号の7第4項の規定(各階柱の柱頭及び柱脚部に各2箇所ずつ、同じ高さで柱の中心に対して均等に2箇所、孔間隔が5mを超える場合は5mを超えない範囲で設置)を参照してください。 ※ 「不適」の場合、その処置方法及び根拠となる資料を添付してください。	(3-1-x~x p) (3-1-x,x p) (3-1-x,x,x,x p) (1-3-x p) (3-1-x p) (8-3-x~x p) (3-1-xx p) (3-1-x~xx p) (3-1-x~xx p) (3-1-x~xx p) (3-1-x~xx p) (3-1-x~xx p) (3-1-x~xx p)

←「日付」がはっきりしない場合は、「上旬、中旬、下旬」としても結構です。その場合は、「日」の欄で「旬」を選択してください。(デフォルトは「日」)また、該当しない場合は「-」を記入してください。

←圧入口を復旧して塞ぐ場合はその他としてください。

←「有」の場合、誘導管タイプを選択式で選んでください。

←全ての径を記入してください。

施工計画チェックリスト(4)

(書式-5d)
2025.02.01改訂

項目	内容	記載ページ
2.7 圧入工法による充填計画	a) 柱1本の高さ方向の充填回数 (2) 回 ※ 鋼管柱の充填前にスラブコンを何層まで打込み可能かを確認の上、設定してください。	(6-6-x~x p)
	b) 充填可能高さの限度の検討(側圧による鋼管の応力・変形を考慮) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(6-2-x~xx p)
	c) 各柱1回の充填高さ 最大値 : (23.520) m	(6-6-x~x p)
	d) 鋼管柱本数 総本数 : (18) 本	(6-3-x p)
	・ 1日あたりの圧入本数 : (~ 9) 本	(6-6-x~x p)
	・ 1本あたりの充填時間 : (25 ~ 35) 分	(6-6-x~x p)
	e) 圧入順序の検討(施工日毎) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(6-4-x~x p)
	f) 充填量 総充填量 : (277.00) m ³ 1日あたりの充填量の最大値 : (75.40) m ³ /日 1日あたりの柱1本の充填量の最大値 : (9.32) m ³ /本	(6-3-1 p) (6-6-x p) (6-6-x p)
	g) 充填高さ速度 ・ (圧入)充填高さ速度 : (0.5 ~ 1.0) m/分 ≤ 1.0 m/分	(6-5-x p)
	h) コンクリート出荷間隔 (10 ~ 35) 分	(6-6-x,x p)
	i) タイムスケジュールを用いた必要性能保持時間等の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(6-6-x~x p) (6-6-x~x p)
	l) ポンプ車機種・能力検討 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ① 機種名 : (某社製コンクリートポンプ車) ② 圧送負荷計算値 : (5.30) MPa ③ 最大吐出圧力 : (7.80) MPa ≥ ② × 1.25 = <u>6.63</u> MPa	(6-5-x~x p)
	m) 遮断装置の種類 <input checked="" type="checkbox"/> スライドバルブ <input type="checkbox"/> その他 ()	(3-1-x~x p)
	n) 充填管理方法 <input checked="" type="checkbox"/> 充填監視用カメラ <input type="checkbox"/> 蒸気抜き孔通過の目視 <input type="checkbox"/> ストローク数による管理 : ストローク数 : (~) ストローク/分 <input type="checkbox"/> その他 ()	(6-1-x~x p) (8-2-x p) (- p) (- p) (- p)
	o) 打継ぎ方法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(6-1-x p)
	p) 打止め方法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(6-1-x p)
	r) 蒸気抜き孔の閉塞方法 (鋼製ボルト栓)	(3-1-x,x p) (6-1-x p)
	s) 溜まり水の除去方法 <input checked="" type="checkbox"/> ポンプ等による排水 <input checked="" type="checkbox"/> 吸水除去 <input checked="" type="checkbox"/> 送風乾燥 <input type="checkbox"/> 水抜き孔からの排水 <input type="checkbox"/> その他 ()	(6-1-x p)
	t) 鋼管上部の養生方法(充填終了後) (鋼管柱頭部を上蓋・シート等で覆う)	(6-1-x p)
	u) 使用しなかったコンクリートの処理計画 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(6-1-x p)

施工計画チェックリスト(5)

(書式-5e)
2025.02.01改訂

項目	内容	記載ページ
2.8 落とし込み 充填工法に よる充填計画	a) 柱1本の高さ方向の充填回数 (4) 回	(6-1-x p)
	b) 充填可能高さの限度の検討(側圧による鋼管の応力・変形を考慮) ■ 有 □ 無	(6-1-x p)
	c) 各柱1回の充填高さ 最大値 : (13.500) m	(6-1-x p)
	d) 鋼管柱本数 総本数 : (25) 本	(6-1-x p)
	・ 1日あたりの落とし込み充填本数 : (12 ~ 13) 本	(6-1-x p)
	・ 1本あたりの充填時間 : (20 ~ 30) 分	(6-1-x p)
	e) 落とし込み順序の検討(施工日毎) ■ 有 □ 無	(6-1-x p)
	f) 充填量 総充填量 : (168.75) m ³	(6-1-x p)
	1日あたりの充填量の最大値 : (87.75) m ³ /日	(6-1-x p)
	1日あたりの柱1本の充填量の最大値 : (6.75) m ³ /本	(6-1-x p)
	g) 充填高さ速度	(6-1-x p)
	・ (落とし込み)充填高さ速度 : (0.7 ~ 1.0) m/分 ≤ 1.0 m/分	
	h) コンクリート出荷間隔 (10 ~ 20) 分	(6-1-x p)
	i) タイムスケジュールを用いた必要性能保持時間等の検討 ■ 有 □ 無	(6-1-x p) (6-1-x p)
	l) コンクリート打込み機器 □ バケット ■ コンクリートポンプ車 □ その他 ()	(6-1-x p)
	m) 充填管の種類 □ トレミー管 ■ フレキシブルホース □ サニーホース □ その他 ()	(6-1-x p)
	・ 充填管の全長 : 最大値 : (15.0) m	(6-1-x p)
	・ 充填開始時の自由落下高さ : (1.0) m以下	(6-1-x p)
	o) 打重ね部・打継ぎ部の処置方法	(6-1-x p)
	・ 打重ね(充填継続中) ■ 有 回数 : (3.0) 回/本 □ 無 時間間隔 : (10.0) 分以内	(6-1-x p)
	※ 「有」の場合、打重ね時間間隔や打重ね回数を必ず事前確認してください。 ※ 打重ね不可の位置(柱梁接合部、ダイアフラムや形状保持板の直下)を避けているか、確認してください。	
・ 打継ぎ位置の検討 : ■ 有 □ 無	(6-1-x p)	
※ 打継ぎ不可の位置(柱梁接合部、ダイアフラムや形状保持板の直下)を避けているか、確認してください。		
p) 打止め方法の検討 □ 有 □ 無	(6-1-x p)	
・ 締固め方法の検討 □ 有 ■ 無 (スランブフロー ≥ 55cmの場合)	(6-1-x p)	
※ 目標スランブフローが55cm以上の場合、締固めを省略することができる。		
r) 蒸気抜き孔の閉塞方法 (鋼製ボルト栓)	(6-1-x p)	
s) 溜まり水の除去方法 ■ ポンプ等による排水 ■ 吸水除去 ■ 送風乾燥 ■ 水抜き孔からの排水 □ その他 ()	(6-1-x p)	
t) 鋼管上部の養生方法(充填終了後) (鋼管柱頭部を上蓋・シート等で覆う)	(6-1-x p)	
u) 使用しなかったコンクリートの処理計画 ■ 有 □ 無	(6-1-x p)	

